



《 43番目の世界遺産 》

マヨルカ島。バルデモサを含む、「トラムンタナ山脈の文化的景観」が登録される

ヨーロッパのハワイと言っても過言ではない、地中海に浮かぶマヨルカ島。ビーチリゾートでありながら、伝統文化も楽しめる人気の観光地です。この度ユネスコの世界遺産に登録されたのは、マヨルカ島西部を南北斜めに走るトラムンタナ山脈の文化的景観。マヨルカ島面積の約 3 分の 1 にあたるおよそ 1,000 km²にも及ぶ山脈です。資源が少ないこの岩山で 1000 年以上前に始まった農業により、この地域は変化し、農薬用水を 管理するための工夫も施されてきました。今回登録された文化的景観には、その農場、水車を含む灌漑施設、バルデモサなどの山脈にある町の石造りの建物や農家が含まれます。



バルデモサ

【歴史】

現在の景観の基礎となっているのは、903 年にマヨルカ島がイスラム教徒に支配されてから中世にかけて築かれたもの。イスラム文化により灌漑技術が伝えられ、放牧や狩猟、農業が始まると、その周辺には、アラブ寺院メスキータを取り巻くように居住区が形成されていきました。その後 1229 年にマヨルカ島がキリスト教のカタルーニャ王国に支配され、封建制度が導入されると、村が形成されます。ショパンが滞在した修道院があるバルデモサ (Valldemossa) をはじめ、エステイェンクス (Estellencs)、バニャルブファル (Banyalbufar) は、その当時造られた町の代表格です。さらに、新しい土地を求めて開墾が進み、土地を管理する上流階級が登場すると、農村部には大きな屋敷が建てられます。当時の農業というオリブ畑が主流でしたが、19 世紀にはブドウ畑、20 世紀にはアーモンド畑が加わり、現在に至っています。なかでも 2 月頃に白い花を咲かせるアーモンドの木は、一見桜に似ていて、マヨルカ島の象徴の一つにもなっています。



アーモンドの木

《 新婚旅行はバルセロナでウェディングフォト 》

ウェディングドレス姿で記念写真

「式は挙げなくても、ウェディングドレス姿で記念写真は撮りたい!」、「せっかくのウェディングドレス、新婚旅行先でもう一度記念写真を撮りたい!」という方に朗報。バルセロナでジャーナリズムを学んだ日本人と現地スタッフが、バルセロナでのウェディングフォトを行っています。お好みに合わせて、ガウディのゲル公園やサグラダ・ファミリア周辺、モンジュイックの丘など、バルセロナのシンボルである名所で撮影。ウェディングドレスのレンタルも可能です。詳細は下記サイトへ。日本語でのお問い合わせ可能。

バルセロナ・ウェディングフォト

URL <http://barcelonaweddingphoto.com> (日本語)

E-mail info@barcelonaweddingphoto.com





《 人気のスペイン・ピレネーで自然を満喫》 世界遺産のボイ溪谷と、パラドールがあるアラン溪谷に隣接する国立公園

ピレネー山脈の豊かな自然が広がる、カタルーニャ側ピレネーのアイグエストルテス国立公園。この公園への入口となるのが、ボイ(Boi)とエスポット(Espot)の村です。西入口のボイは、「ボイ溪谷のロマネスク様式教会群」が世界遺産にも登録されているピレネー山脈麓の人気観光地。ボイ側からは、園内のアイグエストルテス平地を見学できます。一方、東入口であるエスポットからは景勝地サン・マウリシ湖を見学できます。ピレネーの大自然にどっぷり浸りたい方には、公園北西のフランス国境に広がるアラン溪谷の、アルティエス(Arties)やビエーヤ(Vielha)のパラドールに宿泊するのもお勧めです。

公式サイト www.gencat.cat/parcs/aiguestortes (西語)

【アイグエストルテス-サン・マウリシ湖国立公園の歴史&見どころ】

Parque Nacional de Aigüestortes-Estany de Sant Maurici
カタルーニャ州唯一の国立公園で、面積は4万ヘクタール。ピレネー山脈の3000m級の山々がそびえる。本来、花崗岩と粘板岩の岩山だったが、氷河期、万年雪の下層の巨大な氷が谷へと流れ侵食し、U字谷やカルド地形、湖が生まれ現在の景観となったと考えられている。大きさ、深さ、形ともさまざまな湖が100以上もあるこの公園は、ピレネー山脈最大の湖水地帯と言われている。代表的な湖に、公園名ともなっているサン・マウリシ湖がある。また湖のなかには、堆積物が溜まり平地と化したものもある。雨水や川が蛇行し流れるその平地は、カタルーニャ語で「曲がった水」を意味する「アイグエストルテス」と呼ばれ、この公園の見どころの一つ。



アイグエストルテス平地

【ベストシーズンと公園への交通】

夏期がベストシーズン。冬期の立ち入りは禁じられていないものの、天候や路面状態によっては道路が閉鎖される場合もある。ボイとエスポットからは、園内立ち入り可能な四駆タクシーをチャーター。

ボイ:12km 離れた国立公園入り口までのトランスファー <http://taxisvalldeboi.com> (英・西語)

エスポット:サン・マウリシ湖など、湖までのトランスファー <http://taxisespot.com> (英・西語)

【夏期限定:公園バス(Bus de Parc)】

ボイ溪谷から、国立公園を北に迂回してアラン溪谷通り、国立公園東側のエスポットまでを結ぶバスを1日2本、夏期限定で運行。(注)国立公園内は通りません。

ルート:ボイ溪谷(ボイ、タウル他)⇄アラン溪谷(アルティエス、ビエーヤ他)⇄エスポット

時間:ボイ溪谷発 09:00、17:30 エスポット発 09:15、17:45

所要時間:ボイ溪谷⇄アラン溪谷 約1時間半 / アラン溪谷⇄エスポット 約1時間15分

期間:2011年6月21日~9月30日

運賃:片道1.45~10.75€(区間により異なる。往復割引50%有) / 1日乗り放題券 8€

【山岳ガイド】

本格的なトレッキングを楽しみたい方には、山岳ガイドの手配をお勧めします。

アイグエストルテス-サン・マウリシ湖山岳ガイド協会

www.guiesdelparc.org (西語) info@guiesdelparc.org



《 カタルーニャ音楽堂、8月限定で夕刻にも劇場見学 》

バルセロナの人気観光名所カタルーニャ音楽堂は、8月限定で夕刻にガイド付きツアー「Palau Experience」を行います。従来のガイド付きツアー（コンサートホール、交響楽団ホール、ルイス・ミレホール）に加え、“コンサートホール”の舞台上がり出演者の気分を味わえるのがこの新ツアーのポイント。またカヴァの1杯サービスも！

新ツアー【Palau Experience】

時間：16:30～21:30の30分間隔（8月のみ）

ツアー言語：英語、スペイン語、カタルーニャ語

料金：18ユーロ

所要時間：約55分

従来のツアー【Guided Tour】

時間：毎日10:00～15:30の30分間隔

ツアー言語：英語、スペイン語、カタルーニャ語

料金：12ユーロ

所要時間：約50分

詳細：www.palaumusica.org
申込：visites@palaumusica.org

《 その他のニュース 》

【ノーマン・フォスター初のボデガ(ワイナリー) : Bodegas Portia】

マドリッドから北に約170km、ブルゴス県グミエル・デ・イサン(Gumiel de Izán: Aranda de Duero から北西に約15km)に誕生した近未来的な建物のボデガ。ワイナリー見学も行っています。レストラン有。

見学：11:00、12:30、16:30(日祝は11時、12時半のみ)

所用時間：1時間半 料金：10ユーロ

www.bodegasportia.com (英語) / info@bodegasportia.com



ボデガス・ポルティア 外観

【タラゴナ大聖堂、修復に伴い夏期はクローズ】

安全面を考慮し、夏の期間中、観光客の入場は不可。

タラゴナ大聖堂 問い合わせ先：catedral@arquebisbattarragona.cat

【カセレスのパラドールがリニューアルオープン】

改装工事中だったカセレスのパラドールがリニューアルオープン。www.parador.es (英語)

【世界青年の日に伴う、ローマ法王のマドリッド訪問】

8/16～8/21に開催される世界青年の日のイベントには、世界中から150～250万人が集まると予想されています。開催に伴い、8/18～8/21にはローマ法王がマドリッド滞在の予定です。混雑が予想されますのでご注意ください。

<http://www.esmadrid.com/en/world-youth-day-2011> (英語)

【高速鉄道 AVE をマドリッド・バラハス空港の T4 へ通す計画が進行中】

スペイン空港局 AENA とスペイン鉄道整備局 ADIF によると、今年中の開通を目指す。

【セビーヤの老舗 5 つ星ホテル「アルフォンソ 13 世」がリフォームのため一時休業】

リニューアルオープンは、2012年3月の予定。www.hotel-alfonsoxiii.com (英語)